

証手當ノ於會籍費田イニ百圓會籍費ニ與ヘテ、退キ旨申返ヘタ、
 二十五日午前一初編工委員三名ハ會籍ニ出願シテ、退キ旨申返ヘテ、
 事イ謝辭セシメタ、
 受審スル事イ退リ、退キ旨申返ヘテ、全無謝辭ニテ二十十日ニ出願スル
 其ノ結果會籍ニ編入スルニ許サセテ、其ノ結果ニ退キ旨申返ヘテ、
 聯合會本籍ニ編入スルニ退工一同ニ退キ旨申返ヘテ、
 二十四日齊會編入會員チハ退工升速三名ハ青キニ、聯合會東京本
 三谷中編會編入會籍費田一圓強

財團法人協同會大阪支所
 大正十三年二月六日

大正十三年二月六日

財團法人協同會大阪支所

會社側ハ之ヲ容レ十八名ニ對シ二週間分ノ解雇手當ヲ支給シ外ニ
 一人ニ付六圓宛ノ涙金ヲ呈シテ無事解決シタ、
 二十七日會社側ハ無條件ニテ復勤セル職工ノ内テ將來危險ノ怖レ
 アル中村繁三外十名ヲ突然解雇シタ、此ノ不意打ニ憤慨スルモノ
 モ有ツタガ勝算ノ見込無イ所ヨリ遂ニ泣寢入ニ終ツタ、
 二十七日午后七時ヨリ奥村甚之助主催ノ下ニ三條青年會館ニ爭議
 批判演說會ヲ開催シタ、
 二十二日ノ辯士交々立ツテ資本家ノ横暴ト官憲ノ壓迫ヲ攻撃シ最
 後ニ解雇職工ノ松澤健男ハ爭議慘敗ノ宣言書ヲ朗讀シテ午后十一
 時半解散、此ノ日聽衆八百名位有ツタガ八時半頃ヨリ聽衆續々退
 散シテ閉會ノ時ハ約半數ニ減少シタ様ナ状態デ頗ル不振ノ演說會
 テアツタ。